

JESCO 豊田PCB廃棄物処理事業だより(No.176)

1. 豊田PCB廃棄物処理施設 秋期定期点検を実施中

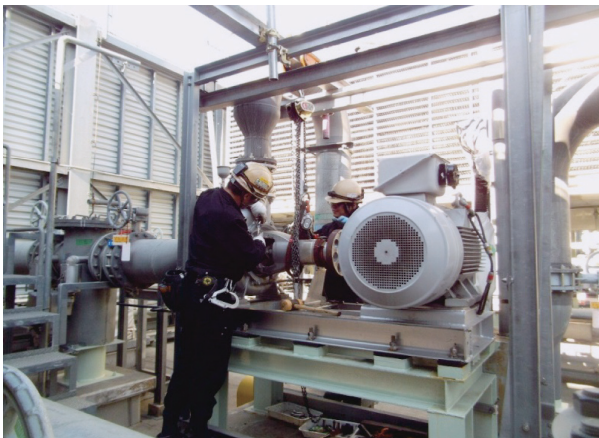
当施設では、11月24日(土)から12月27日(木)まで、34日間の予定で秋期定期点検を行っています。

●災害防止協議会の開催

定期点検に先立ち、11月12日(月)に作業を実施する各社の現場監督者等が一堂に会して、「災害防止協議会」を開催しました。

この協議会は、定期点検の作業で事故や災害を発生させないことを目的に開催しており、PCB廃棄物処理施設特有の作業ルールの徹底と、過去に起きた不具合事象を例示して、更なる安全対策の実施を確認しました。

また、この定期点検の間中は、週1回のペースで安全パトロールを実施し、作業が安全に行われているか、更なる改善事項はないかなどを、作業現場で確認し必要に応じて改善しています。



●11月の実施作業

◆冷却塔 冷却水循環ポンプ軸受交換整備

当施設では蒸留エリアや液処理エリアを中心に、加熱や冷却の工程が多数あり、冷却塔は非常に重要な設備のひとつです。冷却水循環ポンプは、冷却塔と各設備の間で冷却水を循環するためのポンプで、24時間稼働するため、軸受等が早く摩耗します。そのため、この定期点検でポンプの軸受を交換し、今後の運転に支障がないよう整備しました。

◆活性炭吸着槽 活性炭交換

給排気設備は、各処理工程で発生するPCBを含む空気を外部に排出したり、作業環境を悪化させることがないように、常時活性炭吸着槽で空気を浄化しています。設備に使用している活性炭は、ある程度吸着すると、その後の吸着能力が低下しますので、定期的に交換しています。写真は、特殊形状コンデンサ解体設備の作業環境を確保するため、活性炭吸着槽の活性炭交換作業の様子です。

交換した活性炭はドラム缶に収納し、低濃度PCB含有物として無害化認定施設に払出し、適切に処理しています。



2. 総合防災訓練の実施



火災の発生時に被害を最小限に止め、事業所全従業員の安全と避難の確保を図る目的で、豊田市南消防署(西分署)のご協力をいただき、11月15日(木)に総合防災訓練を実施しました。

自動火災報知設備の発報に始まり、南駐車場への緊急避難、防災対策本部及び現地指揮本部の設置、119番通報、人員点呼、初期消火活動、豊田市南消防署(西分署)との連帯訓練、消火完了後の鎮火確認に至るまで、実践さながらの有意義な防災訓練となりました。

また、消火活動中に怪我人が発生したとの想定のもと怪我人を救急隊に引き渡し、救急車による緊急搬送の訓練と煙を充満させた長さ5mのテント内を手探りで移動するスモーク・煙道訓練を参加者が体験しました。

3. 社員提案制度の表彰

豊田PCB処理事業所では『社員提案制度』を実施しています。これは、安全で確実な操業、作業安全の向上、作業の効率化などを目指し、社員から随時、自発的に提案してもらい、優秀な提案を表彰するものです。

平成30年度第1回(平成30年3月～平成30年8月分)は、全35件の提案があり、最優秀賞1件、優秀賞3件、佳作2件を選定し、11月21日(水)に表彰をしました。今回は、更なる安全性の向上を図るものが多く提案され、これらの提案の実践を進め、より一層の安全で安定的な操業に取り組んでまいります。



デジ丸

中間貯蔵・環境安全事業株式会社 (JESCO)

豊田PCB処理事業所 電話: 0565-25-3110 FAX: 0565-24-0543

【豊田PCB処理事業HP】 <http://www.jesconet.co.jp/facility/toyota/index.html>

問い合わせ先

アザラシのびーちゃん

